

過去の総会資料から

住民検診結果（昭和47年度）

昭和47年度 住民検診結果

地区	問 接			示 検 診 者 内 訳						対象者 人数	受診率
	市 東 部	その他 東 部	合計	疾 行 不 能	妊 婦	療 育 院	治 療 中	その他	合計		
尾寺	916	32	948	61	8	28	0	115	212	1,160	81.7
大井	757	15	772	47	3	12	3	72	137	909	84.9
日進	607	22	629	40	6	6	3	20	75	704	89.3
岩田	453	12	465	28	2	5	1	32	68	533	87.2
櫻井	1009	11	1020	70	1	12	6	57	146	1,166	87.5
合計	3,742	92	3,834	246	20	63	13	296	638	4,472	85.7

直 接 130 人、 { 受診できは口人 342 人
 検診をしなくてはいけな口人 4,130 人
 受診率 92.8 %

岡山市との合併（昭和46年）直後の昭和47年度住民検診の結果です。
 受診率が92.8%と非常に高く、頻繁に他の地域から視察があったそうです。

表紙と愛育委員の心得（昭和60年度）

昭和60年度 足守地区愛育委員会総会

とき 昭和60年5月16日(木)
 ところ 足守公民館



三、
 愛育委員は、われらのいとしき希望を深める

二、
 愛育委員は、明るい明日の世を、すすむよき時を、つくる

一、
 愛育委員は、育の珠にもまざる、育のゆりかごに、育の命を、育の光を、つくる

岡山県愛育委員の歌

三、
 愛育委員は、われらのいとしき希望を深める

二、
 愛育委員は、明るい明日の世を、すすむよき時を、つくる

一、
 愛育委員は、育の珠にもまざる、育のゆりかごに、育の命を、育の光を、つくる

愛育委員会とは

だれもが健康で家族みんなが明るく、いきいきと暮らしたい。こうした願いをもつ婦人たちの手で、より健康な生活をしていくためにはどうしたらよいか？ 自主的に健康に関するいろいろな問題をとり上げ、その解決のために、考えあい、相談し、話しあって行動してゆたかな地域づくりをする組織です。

わたしたちのルール

1. 自分や家族が健康ですごせるようにつとめます。
2. 地域のみさんから、喜ばれる活動ができるよう学習につとめます。
3. 活動の中で知った個人や家庭の事情は、他に話しません。
4. 保健医療の指導と異なることはしません。
5. 政治、宗教活動や特定の利益を目的とした活動は、愛育委員活動の中へ持ち込みません。
6. 常に地域のみさんの立場を尊重し、愛育委員の一員として、自分の行動に責任を持ちます。



昭和60年代には、手書きのイラストなどオリジナリティあふれる表紙が多かったようです。また、『愛育委員会とは』や『私たちのルール』からは、当時の委員の意識の高さがうかがえます。

献血の推進

足守地区では、他の地域に先駆けて献血への呼びかけを始めました。これは、昭和38年頃に心臓手術のために大量の輸血が必要な方がおられて、地域の住民に献血を呼びかけたのが始まりです。

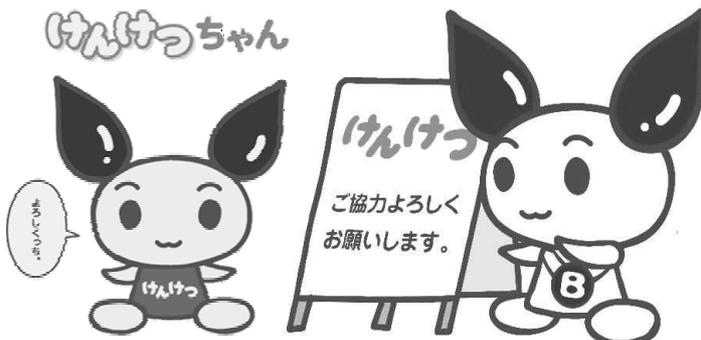
それ以来、地域の皆さんに協力を頂きながら献血推進活動を進めています。この活動が評価され、厚生大臣感謝状、厚生大臣表彰を受賞しました。



S53年 厚生大臣感謝状受賞



H4年 厚生大臣表彰受賞



日本の献血事業のあゆみ

- S27年 日本赤十字社血液銀行東京業務所が開設され、血液銀行がスタートした。
- S37年 『黄色い血』追放キャンペーンが起き、血液事業改善への第一歩が始まる。
- S50年 『第1回はたちの献血』ラジオキャンペーン開始。
- S61年 成分献血、400mL 献血が導入される。
輸血による感染が問題となっているエイズウイルス等の検査を開始。
- H11年 一層の安全性向上を目指し、世界に先んじてNAT（核酸増幅検査）をHIV、B型、C型肝炎ウイルスに対して開始した。
- H15年 『安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律』施行

岡山県の重点推進項目

- 10代、20代をはじめとした若年層及び女性層への献血の拡大
- 400mL 献血及び成分献血の安定確保
- 高校生への献血知識の普及
- 地区組織等との連携による『地域ぐるみ』『職域ぐるみ』の献血推進等

愛育だより

『愛育だより』は、足守の愛育委員の活動を地域の皆さんにもっと知っていただくことをねらいに、平成元年から平成9年まで16号が発行されました。

当初はB4版の片面印刷のものを年1回発行していましたが、途中から両面印刷で発行も年2回になり、充実した内容となりました。

検診や健康情報などのお知らせに加えて、90歳以上の元気な高齢者の方を紹介する『元気で長生き』のコーナーがあり、人気を博していました。



平成10年に全市的な愛育活動の情報誌『あい』の発行が始まり、足守地区愛育委員会が発行していた『愛育だより』は『あい』に引き継がれることになりました。この『あい』は年3回発行され、愛育委員の手によって、各戸に配布されています。



健康で豊かな生活をめざす
愛育活動の情報誌

発行 岡山市愛育委員協議会

事務局 〒700-8546 岡山市東田町1-1-1
岡山市保健福祉会館2階
TEL.086-803-1263 FAX.086-803-1756

2005.10

23

愛育だより

第1号

平成元年 8月

足守地区
愛育委員会

創刊によせて

日近地区 荳野輝子

暑さも一段ときびしくなっています。いかがお過してごいますか。

お伺い申し上げます。

さて、この度「愛育だより」を発行することになり、愛育委員会を立ち上げたいと思っております。

私達愛育委員は地域のオタ(赤い心)からおとしより)がより健康で明るく過されるための行政のパイプ役として、ボランティア活動もさせていただいております。

私達一人々々の小さな力が集まれば、少しでも健康で幸せな地域へのお役に立てばと願っております。

愛育委員はこんな活動をしています。

- ① あらゆる検診への協力
結核 肺がん 胃がん 乳がん 子宮がんの検診。 基本健康診査
- ② 育児相談、乳幼児健診を通じて「母子クラブ」育成。
- ③ 「憩いの丘」かしの園への奉仕
- ④ 健康に関する研修会への参加
- ⑤ 定例愛育委員会への参加



回らん

皆様方のご協力とご理解を得ながら頑張っていますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



福谷の愛育活動

福谷学区 津嶋静子

戸数470戸、人口1725人で、美しい静かな環境に恵まれた福谷に愛育委員29名で1人当たり1.7戸、1.7ク戸を担当して頑張っています。

愛育委員の重要目標

- ・すべての検診を勧めましょう。
- ・赤ら乳は母乳で育てましょう。
- ・活動を勧めるため(愛育だより)を発行

右の目標はなかなか実行出来ていませんが私達愛育委員は健康で明るい社会を作る目的で、育児相談、乳幼児健診、成人病検診など呼びかけ、取組んでいます。なかには検診も都合で受けて下さらない方もあって思い通りに出来ていませんが自分の生涯に渡る健康作りだからと、話し合い検診を勧めています。検診の前々日ぐうには訪問するか、電話で声かけ等して一人でも多くの方を受診して頂くよう工夫しています。毎月第三木曜の育児相談年三回の地区委員会、研修会など、保健婦さんのわかり易いご指導も自分自身のこととして勉強し、早期に病気を発見して楽しく健康に遇して頂くよう声かけをしてゆきたいと思っております。

皆様の理解とご協力をお願いいたします。

(ご案内) かしのついでに、健康と長寿はめざして毎月一回(かしのついで)で開催されます。参加されたらいいかな。



65歳以上の入

のびのび教室

大井学区 本田敏子

七月十三日 第一回「足守地区健康増進教室」のびのびの開講式です。参加者は雨のためか、約三十名、年令は四十才(ハチオオ?)、最初は照れくさかったのか顔も真剣、何人か歩いていき同に和やかに前向きに挑戦してました。腰痛、肩こり予防体操と進行して行く内、外は雨だった。が室内では歓声が上がっていた。黒豆ご飯、小魚の甘酢漬を試食して解散。今日の自分に何かプラスがあった様に思う。

胸部レントゲン検診

受診率 岡山市ナバー1

受け忘れず

8月25日(金)

今年の受診数 3,048人

後日愛育委員お知らせ(封)

保健婦より

足守支所 坂本登子

「高根科等一皿分の千切りトコロこれ一日に食べてよい果物の目安です。」

日中は暑く、こげんを食べん、牛乳は冷たい、冷たい水は好きでない、冷たい夏は麦茶を冷